

総合評価シート

評価対象年度	令和5年度
施設所管課	施設課

1. 指定管理者の概要

名称	常総アップサイクルパーク共同事業体
所在地	茨城県守谷市野木崎1341
代表者	河西 健一郎（代表企業 リバリューマネジメント株式会社 代表取締役）
指定期間	令和4年4月1日から令和24年3月31日まで
業務内容	常総運動公園の利用及び施設の維持管理に関すること。

2. 施設の概要

施設名	常総運動公園	該当年度中の開園日数	316日
所在地	茨城県守谷市野木崎4700番地	1日における開園時間	12～15時間
設置目的	構成市（常総市、取手市、守谷市、つくばみらい市）住民のスポーツレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資することを目的とする。		
主な設備	野球場（両翼95m中堅109m）、テニスコート（7面、人工芝）、体育館（バスケットボール2面）、会議室、室内温水プール（50m×7コース）、自由広場（サッカー場2面）、陸上競技場（400mトラック6コース、インフィールド公式サッカーグラウンド1面）		

3. 施設の利用状況

内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	傾向と増減理由
総利用者数		95,169人	173,353人	203,102人	人	全体的に増加傾向。 利用者数20万人を突破。
各施設の利用率	体育館	21,905人	31,143人	34,539人	人	増加傾向。大会等の開催。
	室内温水プール	8,442人	56,825人	73,562人	人	コロナ明けもあり、大幅に利用 人数増加。
	野球場	4,683人	7,791人	11,060人	人	自主事業により、利用者人数増加。
	テニスコート	20,336人	23,921人	26,255人	人	利用者人数は増加。
	自由広場	31,473人	37,332人	41,806人	人	自主事業により、利用者人数増加。
	陸上競技場	6,116人	11,966人	10,444人	人	利用者人数微減。
	会議室	2,214人	3,784人	4,807人	人	増加傾向。
	その他	16,610人	591人	629人	人	増加傾向。

4. 収支状況（管理運営業務）

		予算額	決算額	増減額	増減の主な理由
収入合計（A）		164,796,000	167,760,110	2,964,110	
項目	指定管理料	134,796,000	134,796,000	0	
	利用料金	30,000,000	32,964,110	2,964,110	自主事業誘致を通じ利用料向上
	その他				
支出合計（B）		164,796,000	145,899,777	-18,896,223	
項目	人件費	113,513,600	90,010,720	-23,502,880	効率化を図り削減
	管理費	6,348,000	8,325,491	1,977,491	一部管理コストが増加
	旅費交通費	576,400	1,247,352	670,952	従業員交通費が想定よりも増加
	会議費	100,000	3,007	-96,993	
	消耗品費	4,056,000	3,064,406	-991,594	効率化を図り削減
	印刷製本費	672,000	242,514	-429,486	効率化を図り削減
	修繕料	3,500,000	6,023,693	2,523,693	修繕項目を増加
	燃料費	320,000	202,128	-117,872	
	光熱水費	4,996,000	3,369,258	-1,626,742	効率化を図り削減
	委託料	19,877,000	28,144,460	8,267,460	一部委託コストが増加
	手数料	1,705,000	88,660	-1,616,340	
	通信運搬費	1,296,000	3,649,449	2,353,449	一部通信費用が増加
	広告料	1,100,000	17,600	-1,082,400	広報は実施せず
	賃借料	876,000	48,610	-827,390	
	備品購入費	1,228,000	192,178	-1,035,822	備品購入案件が少なかった
	保険料	1,172,000	1,057,251	-114,749	
	負担金	0	0	0	
	公租公課	100,000	0	-100,000	
	雑費/予備費	3,360,000	213,000	-3,147,000	予備費は使用しなかった
	保険衛生費	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	
	警備料	0	0	0	
収支（A）－（B）		0	21,860,333	21,860,333	

【収支状況（管理運営業務）に関して指定管理者のコメント】

人件費や雑費等を効率化しつつ、昨年度ご指摘のあった修繕費を予算よりも大幅に超過した金額を充当する事で、効率的な予算執行を実現。

4. 収支状況（自主事業）

		予算額	決算額	増減額	増減の主な理由
収入合計（A）		2,016,560	4,087,879	2,071,319	
項目	自主事業収入	2,016,560	1,355,120	-661,440	一部計画未達案件あり
	自販機収入		2,732,759	2,732,759	計画に盛り込んでいなかった為
	その他			0	
支出合計（B）		1,515,284	1,098,935	-416,349	
項目	人件費	0		0	
	施設使用料	1,327,750	781,630	-546,120	売上に連動
	自販機コスト		141,331	141,331	売上に連動
	営業管理諸費用	187,534	0	-187,534	
				0	
				0	
				0	
				0	
	その他		175,974	175,974	
	収支（A）－（B）	501,276	2,988,944	2,487,668	

【収支状況（自主事業）に関して指定管理者のコメント】

売上・支出共に、収支計画は達成
次年度以降も、売上向上を図っていく

5.項目別評価

1. 施設の管理運営		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 基本方針の確立	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立され、業務従事者は理解していたか。	B			B	2	
(2) 人員体制	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
施設の管理運営に必要な人員が過不足なく配置されていたか。	B			B	2	
地元雇用の配慮はされていたか。						
業務の遂行に必要な知識、技能の習得、利用者サービス向上のための研修等は実施したか。						
(3) 連絡体制	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
協定書等に従い、各種書類等は遅延なく提出していたか。	B			C	1	各種書類提出が遅れていた。
(4) 利用者数	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
事業計画書に掲げた目標を達成したか。	A	年間利用者数20万人を突破し、大きく向上した		A	3	
(5) 記録管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
利用申請書、報告書その他書類を適切に作成・保管していたか。	B			B	2	
(6) 情報公開・個人情報保護	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
情報公開・個人情報保護の取り扱いは、協定書に基づき適正に行っていたか。	B			B	2	
(7) 第三者委託	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
第三者への委託が適切な手続きで行われ、第三者が再委任することはなかったか。	B			B	2	
(8) 緊急時の対応	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
事故、災害時等の緊急時対応マニュアルの整備や対応体制が確立されていたか。	B			B	2	
指定管理者 コメント	通常の管理運営は、適正に行われており、利用者数も大幅に向上した。					
施設所管課 コメント	施設の管理運営については概ね適正でありましたが、各種書類の提出遅延が見受けられたのでこの点について改善を期待します。					

5.項目別評価

2. サービス向上の取組み		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 利用者対応	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
利用許可、予約等を公平かつ適切に行っていたか。	A	オンライン決済を導入し、オンライン完結によるシステム化を実施し、利用者の利便性を大きく向上させた。		A	3	
マニュアルが整備され、利用者への接遇は適切であったか。						
(2) 利用促進	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
施設の利用者増に向けた取組みを行ったか。	A	計8回のマルシェを開催し、合計15,500名を集客。		A	3	
(3) 情報提供・PR	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
施設の認知度向上や最新情報の発信等を積極的に行ったか。	A	運動公園SNSでの定常発信に加え、前年に立ち上げた「常総マルシェの専用SNS発信」も積極的に稼働。通常以上の発信を心がけた。		B	2	X（旧ツイッター）の更新の滞りが見受けられた。
(4) 苦情等への対応	評価			評価	評点	相違がある場合の理由
苦情や要望等の対応を、迅速かつ適切に行ったか。	B			B	2	
(5) 利用者調査	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
アンケート等の実施により、利用者満足度やニーズを把握し、サービス向上に活用していたか。	A	利用者満足度調査では、すべての項目で“不満”と回答した人が10%を下回る。		B	2	概ね基準通りである。
(6) 連携業務	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
運動公園と地域交流センターの両施設を有効活用した連携業務を実施したか。	B			B	2	
(7) 地域との連携	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
地域に根差した施設運営となるような取組みを行ったか。	A	大野小学校との取組を実施し、地域交流を積極的に推進		B	2	事業計画に掲げた地域連携は未実施であるが、小学校との地域交流については評価する。
(8) 自主事業	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
事業計画書に掲げた自主事業を実施できたか。	B			C	1	事業計画に掲げた自主事業が未実施のものが、また、新規で申請した自主事業においても参加者が集まらず取りやめとなったものも見受けられた。
利用者ニーズを踏まえた自主事業を実施したか。						
指定管理者 コメント	利用者を第一に考えた施策により、利用者利便性や利用者満足度を向上させた。					
施設所管課 コメント	サービス向上の取組みについては、概ね適正でありました。一方で情報発信ツールXの更新の滞りや計画した自主事業が実施されなかったものも見受けられたのでこの点については改善されることを期待します。					

5.項目別評価

3. 施設の維持管理		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
(1) 施設の点検・整備等	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
法令、業務基準等に従い、施設や設備の点検整備、保守管理等を行っていたか。	B			B	2	
(2) 施設の修繕	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
協定書等に従い、適切に修繕が実施されていたか。	B			B	2	事業体内での連携不足による対応の遅れが見受けられた。
(3) 清掃・衛生管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
業務基準等に従い、清掃・衛生管理を適切に行い、施設が清潔に保たれていたか。	A	担当者の日々の努力の結果、市民から「満足した」という評価を得た。		B	2	概ね業務基準通りである。
(4) 植栽等の管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
業務基準等に従い、樹木・植栽等の美観が保たれていたか。	A	担当者による園内及び植栽の管理が徹底され、常に景観が保たれた。		B	2	概ね業務基準通りである。
公園においてグラウンドは良好に保たれていたか。						
(5) 備品の管理	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
備品を適切に管理し、また、備品台帳を整理していたか。	B			C	1	R5年度購入備品が台帳に掲載されていなかった。
年に1回以上、台帳と現物の照合を行ったか。						
(6) 環境への配慮	評価	B評価以外の理由		評価	評点	相違がある場合の理由
環境に配慮した製品の購入や、エネルギー使用量・廃棄物の削減に向けた取組みをしていたか。	B			B	2	
指定管理者コメント	維持管理担当者の尽力により、老朽化された施設ながら、維持管理は徹底された。					
施設所管課コメント	施設の維持管理については、概ね適正でありましたが、一部、修繕対応の遅れや、購入備品の記録漏れがありましたので、この点については改善を期待します。					

5.項目別評価

4. 収支状況		指定管理者 による自己評価		施設所管課 による評価		
	(1) 経理事務	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	指定管理業務に関する経費と自主事業に関する経費を区別して帳簿等を備え管理していたか。	B		C	1	利用料金収入において、帳簿と通帳の不一致により原因究明に時間を要した。
	料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理したか。					
	自主事業に指定管理料を充てることはなかったか。					
	(2) 予算執行	評価	B評価以外の理由	評価	評点	相違がある場合の理由
	サービスの維持・向上に留意した上で、効果的・効率的な予算執行が図られたか。	A	効率的な予算執行をしつつ、修繕などの必要項目に予算を超えた執行を行った	B	2	支出予算額が公募時の内容であったため、決算額が各項目で乖離が見えました。実績や事業計画に基づいた予算計上を検討して下さい。
指定管理者コメント		経費の無駄を省くことで、適正な予算の執行管理ができた。				
施設所管課コメント		事業体内での執行管理が十分に把握されておらず、収支実績額の確定に時間を要しましたので、改善をお願いします。				

6. 総合評価

合計評点数	47 /72点	
総合評価	C	一部業務に改善が必要
【施設所管課からの講評】 指定管理業務2年目となり、安定した管理運営に向かっています。コロナ禍からの回復もありますが、自主事業実施により公園利用者は増加傾向です。一方で事業計画書に掲げた事業の一部未実施や収支状況の把握が万全でなかったことについては改善をお願いします。		